



社労士のつぶやき(70) コロナ禍の中で

コロナがぶり返してきました。正直、しんどい。「誰もがでしょ」と言われそうですが、個人的にホント辛い。今年4月1日の時点で雇用調整助成金のためにこれだけの地獄を味わうとは思っていませんでした。私の顧問先にはパチンコ屋さんが数件あります。パチンコ店は一見「三密」に見えますが、3月下旬にとある店長さんの話を聞くと、「コロナは何も関係ありません。平日の昼間に満員なんてあり得ないし、じっと座って台と向き合って黙って打ってるし、空気の入替えはどんな小さな居酒屋よりもマメすることが義務付けられています。行列もありません。警察からコロナの影響で新台入替禁止とのお達しですから」と笑ってました。コロナの影響は当時、インバウンドが減った観光産業の話だというのが一般的でした。

空気が変わったのは4月8日の緊急事態宣言からでした。パチンコ店はいきなり休業に追い込まれたのです。そのころから私の事務所に雇用調整助成金の問い合わせがひっきりなしとなりました。繁華街から人が消え、子どもたちも休校で自宅待機となり、周囲はひっそりとしているにもかかわらず、気がつけば助成金の説明やらハンコやらでせかせかと走り回っている自分がいました。しかも制度は毎日のように変わるので、説明の枕詞は「明日変わるかもしれません」とせざるを得ませんでした。

サービス産業は、従業員の数が多いこと、労働時間も賃金もバラバラ、社会保険や雇用保険などの手続きも行っていない、タイムカードも店舗間の移動などがあるためシフト表は他者が見ても全く意味不明、というのが「常識」の世界です。これらバラバラで複雑なシフト表とタイムカード、賃金台帳を読み解いて整理して支給申請書を作成し、いかに審査を無事に乗り切れるのかに社労士の重みがあります。これらの作業のため、この歳で久々に何度か事務所で朝を迎えました。また、間違っていたら・・・と眠れない日々も過ごしました。

雇用調整助成金は1970年代後半、高度成長経済から低成長に移行し、造船業などで不況でも雇用を維持した会社に対して支給したのが始まりです。つまり、工場労働者で規則正しい労働時間と賃金を決めている会社に対して支給されるものなのです。それを今回、一気に低賃金のアルバイトや非正規労働者が大多数を占めるサービス産業に当てはめたのだから、どだい無理がありました。

でも、ようやく7月末ごろから申請手のヤマを越えたので、やっとお盆はゆっくりできるなあ、と思ってたところへこのぶり返し。さて、休めるかなあ。しんどい。

社労士事務所アジュール 高 龍弘

燃料カードの価格表【2020年8月分】

AMSカード ※共通利用可能

油種	ENEOS・Shell・COSMO
レギュラー	119円
ハイオク	129円
軽油	102円

【価格は税抜】

ENEOSビジネスカード

油種	ENEOS
レギュラー	123.0円
ハイオク	133.0円
軽油	101.0円

【価格は税抜】

全国共通・燃料カード ※カードはメーカーごとに発行

油種	COSMO	ENEOS	宇佐美
レギュラー	119.6~121.6円	119.0~121.0円	118.3~120.3円
ハイオク	129.6~131.6円	129.0~131.0円	128.3~130.3円
軽油	92.7~94.7円	96.4~98.4円	93.1~95.1円

【価格は税抜】

全国共通・燃料カード ※カードはメーカーごとに発行

油種	ENEOS ウイング	FLEX & TRUST カード (Shell)	TRUST & FLEX カード (出光)	エネクスフリート
レギュラー	116.0~118.0円	117.5~119.5円	120.3~122.3円	114.7~116.7円
ハイオク	126.0~128.0円	127.5~129.5円	130.3~132.3円	124.7~126.7円
軽油	87.9~89.9円	95.2~97.2円	92.5~94.5円	89.8~91.8円

【価格は税抜】